



平成 29 年 1 月 30 日

各 位

上場会社名 ホシザキ株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 坂本 精志
 (コード番号 6465)
 問合せ先責任者 常務取締役 本郷 正己
 (TEL 0562-96-1320)

業績予想の修正及び営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 7 月 29 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 265,000	百万円 34,200	百万円 28,600	百万円 17,800	245.81
今回修正予想(B)	265,400	34,500	34,100	21,350	294.83
増減額(B-A)	400	300	5,500	3,550	
増減率(%)	0.2	0.9	19.2	19.9	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 12 月期)	260,174	31,719	30,864	16,971	234.47

修正の理由

通期連結業績予想数値の修正

当連結会計年度は、国内において、一部のチェーン店で設備投資の抑制傾向が見られたものの景気回復の継続を追い風に、フードサービス産業全体としては設備投資が好調に推移いたしました。このような状況の下、当社グループは既存顧客との関係強化及び新規顧客の開拓に積極的に取り組むことにより、主力製品及び戦略商品の販売が好調に推移いたしました。海外においては、米国の景気好調が続いたことなどにより製氷機及び冷蔵庫の販売が好調に推移しました。

また、国内、海外において、原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減などを図り、利益の捻出に努めたことにより、売上高、営業利益においては、前回発表予想時(平成 28 年 7 月 29 日)の通期連結業績予想を上回る見込みです。

一方、期末にかけて各通貨が円安に進んだことに伴い、営業外費用として、保有外貨資産などの円貨評価に係る為替差損は、約 15 億円まで縮小し、経常利益においても通期連結業績予想を上回る見込みです（前回発表予想時（平成 28 年 7 月 29 日）の為替差損計上見込み額約 59.6 億円）。

これらに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想時の通期連結業績予想を上回る見込みとなりましたので、通期の連結業績予想を修正いたします。

営業外収益（為替差益）の内容

平成 28 年 12 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において為替差損 66 億 34 百万円を計上しておりましたが、為替相場が円安に進んだことにより、平成 28 年第 4 四半期連結会計期間（平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）において、為替差益 50 億 88 百万円を営業外収益に計上する見込みです。

平成 28 年通期連結累計期間（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）においては為替差損 15 億 45 百万円を営業外費用に計上する見込みとなります。

（注記）

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実績等が見通しの数値と異なることが有り得ますことをご承知おき下さい。

以 上